

地域再生計画（地方創生汚水処理施設整備推進交付金）事後評価調査

都道府県名	佐賀県	事業実施主体	有田町	地域再生計画名	有田町ひとつつながる安全・安心な地域づくり計画
計画期間	平成28年度～令和4年度	評価責任者	有田町 上下水道課長 岩崎 泉		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値			最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価
	指標1	指標2	基準年度		年度	中間実績		基準年度	最終実績		指標総数	達成数	
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	汚水処理施設への接続の推進	56.7%	H26	71.1%	H30	64.2%	74.9%	R4	65.6%	×	3 0	浄化槽の接続については、接続率は増加傾向となっている。しかし、公共下水道においては、空き家や高齢者世帯の増加、新型コロナウイルス感染症が発生した中、接続推進を行ったが接続率が伸び悩み、目標値を達成できなかった。 観光客が集まる地区の管きよ整備を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの中止や外出等の抑制が行われ観光客が減り、目標値を達成できなかった。 地方創生汚水処理施設整備推進交付金の活用により生活環境の改善を図ったが、自然要因による人口減少が当初見込みより多くなったことにより、目標値を達成できなかった。
	指標2	観光人口の増加	2,343千人	H26	2,476千人	H30	2,587千人	2,546千人	R4	1,933千人	×		
	指標3	定住人口減少への歯止め	20,795人	H26	20,300人	H30	19,911人	19,700人	R4	18,986人	×		
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1												
	指標2												
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価							
			計画	中間年度(H30)	最終実績								
特別措置を適用して行う事業	公共下水道		13,862m	4,595m	13,787m	計画通りの実績となり、汚水処理人口普及率の向上に寄与した。今後は、接続率の向上を目指す必要がある。							
	浄化槽		236基	90基	236基	計画通りの実績となり、汚水処理人口普及率の向上、また河川の水質改善に寄与した。今後も、更なる普及率の向上を目指す必要がある。							
その他の事業	接続補助制度		排水設備工事費の補助			汚水処理積立奨励金や改造資金利子補給金の制度により、接続の推進を図った。また、汚水処理ニュースを年に1回発行し町内全戸に配布することにより、汚水事業への理解を高め接続の推進を図ることができた。							
	観光振興事業		観光客向け公衆トイレ等の水洗化			各種イベントにおいて、仮設水洗トイレを導入し、清潔で衛生的な環境の提供を図った。しかし、新型コロナウイルス感染症によるイベントの中止や外出の抑制が影響し、観光人口の増加は図れなかった。							
	定住促進事業		空き家対策及びコミュニティバス事業			「空き家インフォメーション」を開設し、町外からの定住促進に努めた外、コミュニティバスやデマンドタクシーを運行し、生活の利便性を高め定住促進を図った。							
計画外で独自に実施した事業													
④評価方法	役場内で集計するデータ及び資料を用いて関係部署等からの意見を聴取し、最終目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。												
⑤事後評価の公表方法	有田町のホームページに掲載												
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、地方創生汚水処理施設整備推進交付金を活用して公共下水道と浄化槽を一体的に整備を行うことにより、未普及地域の早期解消を図ることができた。また、公共用水域の水質保全及び生活環境の改善により、汚水処理人口普及率の向上を図ることができた。しかしながら、汚水処理施設の整備推進による定住人口減少への歯止めを図るための数値目標には届かなかったが、他事業との効果を踏まえると一定の効果は図られたと考えられる。												
⑦今後の方針等	公共下水道施設については長寿命化計画に基づき、計画的な改築・更新によるランニングコストの低減に努め、併せて浄化槽整備を推進し、水質の保全や快適な生活環境の整備を引き続き進めていきたい。今後も関連事業と連携しながら、ひとつつながる安全・安心な地域づくりを目指し、人口減少の抑制や定住の促進につなげていきたい。												